

会報 しんせき

第 94 号

令和3年11月10日

発行責任者

新関コミュニティ協議会
会長 渡辺 和典

笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱい

新関コミュニティ協議会：新潟市秋葉区下新364-1 TEL0250-47-4640

(新関コミュニティ協議会の活動は、新潟市の助成を受けています。)



晩秋の風景と言えば、葉が少なくなり実だけの柿の木でしょうか。

どこか寂しく 物悲しいたたずまいが 郷愁を誘います。

もうすぐ白いものが・・・



毛筆に親しむ会から

特別賞、特選 が相次ぎました。

○小林彩華さん（小4）

第24回松蔭賞書道展 **特選**

○本間結衣さん（中3）

新潟大学全国競書大会 **特別賞**

○本間 希さん（小2）

新潟大学全国競書大会 **特選**

夏休み中 一生懸命練習を重ねた結果、
このような栄誉に輝きました。

おめでとうございます。



レクダンス
「楽しい輪」の
みなさんは、今
年で創立20
周年を迎えら
れました。新関
コミ協ができ
て17年です。
その前からの
活動ですから
驚きです。
今後益々の
ご繁栄をお祈
り申し上げます。

イノシシ・クマの出没情報が

相次いでいます。

注意！

金津地内にイノシシやクマが出没しています。小口方面でもイノシシの足跡が発見されました。足跡は大人のこぶしほどもあります。金津コミ協、山の手コミ協と連携しながら対応していきます。



旧土地改良区の建物解体



跡地には、砂利が敷かれ柵も施されました。

作品展が無事終わりました。

昨年はコロナ感染症のため、「新関ふれあい祭り・作品展」はやむなく中止。

今年になっても感染症は収まらず対応に苦慮しましたが、外での食品を扱う催し物は取りやめ、コロナ対策に万全を期して、室内で作品展のみで実施しました。長年続いた事業もいったん途絶えてしまうと再開にはかなりのエネルギーを要することになります。「継続は力なり」です。作品の集まり具合が心配されましたが、多くの皆様（地域住民・こぐち苑のみなさん・認定こども園おひさま・しんせき児童クラブ・新関小の職員・コミセン利用団体・羽下地域の方・少年野球チーム・ミニバスチーム〈敬称略〉）から出品していただきました。厚く御礼申し上げます。

今年も、新関小学校で大切に保管されているお宝「江戸時代後半の書家巻菱湖」の作品で、**畳2枚ほどの大作（掛け軸）**をお借りし、和室で展示しました。迫力に圧倒され、感動、感嘆の声をあげている方がたくさんおられました。

予想以上の多くの方が来館され、しかも静かなたたずまいの中で鑑賞していただきました。作品展らしい雰囲気が出ていたと思います。

会場の書道作品で「**仁義礼智忠信孝悌**（南総里見八犬伝より）」・響生 あったかい 心素直な心 支え合って生きる」・「**今日が穏やかでやさしい一日でありますように**」**としてみなさんにふと笑顔になる瞬間が訪れますように**」の文字が目にとまりました。

最近の日本の世相はどうでしょうか。理不尽で残酷で悲しい事件が多すぎます。日本人の心が病んでいるように思います。書で表現されたこれらの言葉を日本全国に届けたいと思いました。

コロナ感染症の収束を願い、来年度は、内と外とで「**作品展**」の「**静**」と「**祭り**」の「**動**」とを組み合わせさせた「**新関ふれあい祭り・作品展**」が従来通り開催できればと思っています。今回のコロナ感染症はいろいろなことを考えさせられました。